

ふん

やまざと

VOL.68

[12月定例議会号]
令和5年2月15日



南関町英語プロジェクトのみなさん

会員数：15人

活動内容：プロジェクト活動を通して、小中学生が町の魅力を再確認したり、英語を楽しく学ぶきっかけを作り、そして世界と繋がる感覚を経験する機会を作ります。

P2. 議案審議

P3. 委員会報告

P6. 一般質問、されど一般質問

P7. 一般質問

P14. 生の声を聴く

なんかんのギカイ

南関町議会の内容を分かりやすくお伝えします。

1 〈議案72号〉 専決処分の報告及び承認を求めることについて

全
会
数
承認

(令和4年度南関町一般会計補正予算(第4号))

国の補助金である新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が、南関町では「なんかんトッパ商品券」として全町民に支給されることなどが承認されました



2 〈議案73号〉 南関町太陽光発電設備の適正な設置及び維持管理等に関する条例の制定について

全
会
数
可決

町内における太陽光発電設備及び維持管理等に関し、災害の防止、生活環境の保全及び自然環境の保護に配慮した適正な方法によるものとする必要があり、その事項を定めた条例が制定されました。無作為な開発に対し、1ha以上の事業面積は県の林地開発許可制度で守られておりますが、1ha未満の開発では歯止めがありません。3000㎡以上の事業面積の開発の場合、事業者には管理～廃棄まで責任を持つこと、住民や町との事前協議や町長の許可を義務化し、命令や勧告に従わない場合には罰則を設けました

3 〈議案74号〉 南関町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について

全
会
数
可決

個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)の一部改正に伴い、個人情報保護に関し必要な事項が定められました



4 〈議案75号〉 南関町情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について

全
会
数
可決

個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)の一部改正に伴い、個人情報保護審査会に関し必要な事項が定められました



5 〈議案76号〉 南関町手数料条例及び南関町情報公開条例の一部を改正する条例の制定について

全
会
数
可決

個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)の一部改正に伴い、関係規定が整備されました



6 〈議案77号〉 南関町一般職の職員の給与に関する条例の一部を制定する条例の制定について

全
会
数
可決

地方公務員法第24条の趣旨に添い、給与が適正なもの制定されました

7 〈議案78号〉 南関町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を制定する条例の制定について

全
会
数
可決

地方公務員法第24条の趣旨に添い、特別職の期末手当が適正なものに制定されました

8 〈議案79号〉 熊本県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部変更について

全
会
数
可決

熊本県市町村総合事務組合規約から「菊池環境保全組合」が削られました

9 〈議案80号〉 令和4年度南関町一般会計補正予算(第5号)について

全
会
数
可決

〈議案81号〉 令和4年度南関町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

〈議案82号〉 令和4年度南関町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について

〈議案83号〉 令和4年度南関町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について

〈議案84号〉 令和4年度南関町浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第3号)について

〈議案85号〉 令和4年度南関町下水道事業補正予算(第3号)について



令和4年度の補正予算が可決されました

町長提出議案・・・16件
議員提出議案・・・1件
委員会提出議案・・・1件

10 〈議案86号〉 指定管理者の指定について

全会一致 可決

南関町加工品開発センターは、令和5年4月1日から令和10年3月31日まで。
一般社団法人 ふるさと応援団が指定管理者に指定されました

11 〈議案87号〉 南関町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

全会一致 同意

任期満了のため、令和5年1月27日付けで、新たに藤尾亜紀氏が委員に任命されました

12 〈委員会提出議案第1号〉 南関町議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する
条例の一部を制定する条例の制定について

全会一致 可決

地方公務員法第24条の趣旨に添い、近隣市町村との均衡を図って、
議会議員等の期末手当を適正なものに制定されました



13 〈議員提出議案第2号〉 消費税インボイスの実施延期を求める意見書

全会一致 可決

令和5年10月からインボイス制度が始まる。制度開始時にインボイス発行事業者になるためには、原則令和5年3月31日までに登録申請が必要であり、そのための制度の説明会も実施されているが、周知には至っていない。登録は任意であるが、登録にあたっては、取引先との調整やシステムの整備が必要となることもあるため、実施の延期を求める意見書を提出するもの。

委員会
報告

令和4年度町村議会広報研修会

広報常任委員会

委員長 伊藤博長



【日時】 令和4年11月24日(木) 13時～16時

【場所】 グランメッセ熊本 コンベンションホール

【出席者】 伊藤博長 矢野修一 山口純子 福山美佳 山下飛鳥主査

町村議会広報コンクールでの優秀な自治体の表彰が行われた。審査公表では、熊本大学客員教授の越地真一郎氏により優れた自治体の評価のポイントは、

- ①住民と共に考える姿勢の徹底
- ②行政広報との違いが鮮明
- ③秀でる企画力と編集力がある

と事例を交えての説明があった。

その後、越地氏と入賞した自治体の代表により、「何がどう違うのか～相違工夫の取り組みに学ぶ」をテーマにパネルディスカッションが行われ、相違工夫された点や苦労話などを聴くことができ、どこの自治体も頑張っておられて刺激を受けた。また、広報誌に QR コードを取り入れ、ホームページとの連動など、先進的な取り組みをしている自治体もあり、特に印象に残った。

南関町の議会だよりも、今回学んだことを取り入れ、もっと読んでもらえる議会だよりを目指し、今後の紙面づくりに反映していく。

また、議会だよりだけではなく、議会のホームページも広報常任委員会の範囲と捉え、開かれた議会情報の公開を検討していきたい。





【参加者】 杉村博明 西田恵介 立山比呂志 境田敏高 矢野修一 伊藤博長

【内 容】

当委員会では令和4年11月15日午前、東京都大田区下丸子2-17-10富士ダイス株式会社本社を視察し、午後より東京都千代田区平河町2-6-3熊本県東京事務所及び東京都中央区銀座5-3-16銀座熊本館の視察を行った。

まず、富士ダイス株式会社ではエントランスにおいて出迎えを受け、大会議室では社長はじめ役員方々との挨拶を交わし、その後会社紹介の動画を拝見し、担当者より会社概要の説明と熊本製造所のあゆみ並びに今後の事業展開について説明を受けた。

富士ダイス株式会社は、1949年6月に浅沼社長が創業し、現在4代目の久保井社長へと引き継がれており、順調に業績を伸ばされているとのことであった。

熊本製造所は1987年に建設され、昭和62年5月操業開始、2016年10月増設され、来年は新冶金棟の増設を行い生産能力を20%



UPの見込みである旨の説明があり、質疑応答があった。

富士ダイスでは従業員募集を行ったが、応募が無かったとのこと高卒では普通科卒も採用しており工業系には拘ってないとのこと PR不足のところもあり、町との連携を必要と感じさせられた。

次に都道府県会館10階にある熊本県東京事務所では内田清之所長はじめ次長、課長、担当者より企業誘致関連、銀座熊本館等の説明を受け、現在、熊本県では TSMC 関連で企業からの問い合わせも多くあり、半導体関連会社の相談も増えている。

是非、いい話があればお互い情報を共有し進めていきたいとの話であった。

場所を中央区銀座に移し、銀座熊本館へと移動して各市町村の特産品等の販売状況の視察を行った。当町から南関あげが販売されていたが、ブースが限られており、手狭な感じであった。

【考 察】

南関町において、富士ダイス株式会社は優良企業であり、益々の発展を祈念するものである。熊本県東京事務所では企業誘致にも積極的に携わっており、期待したい。





【参加者】 北原浩一郎 福山美佳 山口純子 立山秀喜 井下忠俊 中村正雄 橋本事務局長
【視察場所】 千葉県印旛郡酒々井町

酒々井町は、街道が通り我が町とよく似た原風景を持つ自然豊かな歴史のある町であり、周りを市に囲まれ、平成の大合併でも単独の道を選んでいるなど当町と共通点が多い町です。令和4年11月16日午前中に史跡や文化財を視察後、午後からは酒々井町庁舎内で町長、議長が参加される中意見交換を行いました。

●「酒々井学」の取り組み

子ども達の町に対する愛着心や郷土意識を育むことを目的とした地域について学ぶ「酒々井学」を学校教育に取り入れています。少子化が進む我が町こそキャリア教育を加えた独自の「南関学」を作り上げなければならないと思います。教育委員会、町、議会三位一体となった教育をこれまで以上に求めていきます。

●模擬選挙とこども議会の実施

主権者教育として模擬選挙やこども議会などを小学校の授業に導入するなど先進的なプログラムを実施しています。自分で考えたまちづくりのアイデアを発表し、選挙で選ばれた小学生議員が議会で執行部に質問するというとてもユニークな取り組みでありまして、若い世代の投票率低下や議員のなり手不足などの課題解決のヒントを得たので、わが町にあったやり方を模索していきたいと思います。



●歩きやすい環境づくり推進の町

大都市圏のベッドタウンとして成長し、都市機能と居住地が集約したコンパクトシティを形成。人口の半数以上が電車通勤・通学し歩くことが当たり前の町。さらに高齢者が安心して地域で暮らせて外出しやすい環境づくりや自分の足で歩いて暮らせるまちづくりを目標として、路側帯のカラー舗装化を推進するなどその環境づくりに努めています。このことが要介護認定比率 12.6%、介護保険料月額 3,900 円という数字に現れていると感じました。我が町も健康年齢維持のためにも安心して歩ける環境作りが求められていると思います。

●鷹の原城と旧石井家住宅整備のヒント

国指定史跡である土の城、本佐倉城跡の案内所で映像構成を視聴し、ボランティアガイドの方の説明を聞きながら小雨の中での散策をしました。



国登録有形文化財の飯沼本家。築 300 年の佇まいをそのまま活かした料亭として利活用されている経緯を当主の方よりお聞きする機会を頂きました。

視察を通して、歴史ある町の在り方を問われたと思いました。歴史の価値の再認識と南関町にしかない財産をいかに守り伝え活かすか、この視点がかからのまちづくりには必要だということ刻ませて頂きました。



一般質問、されど一般質問!

一般質問は、議員にとって、議会の議席を預かり、まちの課題にとりくむ政治家として、町民の暮らしを支える自治体の〈政策・制度〉をよりよいものにするための、町政に対する監査（チェック）と政策提案の機会です。

一般質問の機会は、定例議会の年に4回。一般質問の詳細は、議事録や議会日より「山郷」に記載しておりますが、「だれが、いつ、どのような質問をしたのか」について、質問のタイトルを整理しました。



議 員		定 例 議 会			
		3 月	6 月	9 月	12 月
1	福山美佳	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達の地元定着率向上への対策について 	<ul style="list-style-type: none"> 南関町の脱プラ対策について 小中学校の保健教育の現状及び、家庭環境に対する理解について 小学生の服装について 	<ul style="list-style-type: none"> 女子小中学生における学校での生理用品設置の進捗状況について 町職員の管理職における女性職員の登用について 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校数の適正化と町の人口対策について
2	伊藤博長	<ul style="list-style-type: none"> 山林の大規模開発規制の条例化について 農業の現状課題について ふるさとなんかん応援寄附金の用途について 	<ul style="list-style-type: none"> 就農者の確保について 不法投棄について 		<ul style="list-style-type: none"> イノシシ被害対策について 老人クラブについて
3	矢野修一		<ul style="list-style-type: none"> 農業関係の助成について 農業の災害復旧対策について 農業のコロナ禍対策について 	<ul style="list-style-type: none"> 農業施設の農道舗装について ウクライナ情勢等による農家への対応について 	
4	西田恵介	<ul style="list-style-type: none"> 災害時避難所の設置について 			<ul style="list-style-type: none"> 職員採用試験について 農業振興について
5	北原浩一郎		<ul style="list-style-type: none"> 関川災害復旧助成事業について 旧石井家住宅整備について 	<ul style="list-style-type: none"> 行政・地域・住民が協働するまちづくりについて 	<ul style="list-style-type: none"> 町民が安全安心に快適に歩くことができる歩道整備について
6	中村正雄	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの放課後の過ごし方について 教育委員会の公開性について 		<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電設備の適正な設置及び維持管理等に関する条例の制定について 旧石井家住宅保存活用について 南関町地域未来構想の実現化について 	
7	杉村博明	<ul style="list-style-type: none"> 町道新設、改良拡幅工事の進捗状況について 	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致と新設工業団地の現状状況について 	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致支援対策室の動向の状況について 	<ul style="list-style-type: none"> 南関町新産業・エネルギー誘致計画について
8	井下忠俊	<ul style="list-style-type: none"> 新庁舎について 今回の町議会選挙について 		<ul style="list-style-type: none"> 猫に関する諸問題について 	
9	境田敏高	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍について 通学路・生活道路の安全対策について 	<ul style="list-style-type: none"> 「生理的貧困」への対応について 生活道路について 	<ul style="list-style-type: none"> 南関町人口ビジョンについて 業務委託について 	<ul style="list-style-type: none"> 安全な交通経路の確保について ランドセル症候群について
10	山口純子		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策と終息後の取り組みについて 梅雨時に向けて豪雨災害への対策について 		<ul style="list-style-type: none"> 買い物に不自由な人への対策について 子どもの丘保育園付近の信号機の改善について
副議長	立山比呂志	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス対策について 令和3年災について 			
議長	立山秀喜				

一 般 質 問

みなさんの生活にかかわる大切な内容について質問しました。

- ・ 一般質問の記事：質問した議員が1300文字程度に要約して執筆したものです。原文を尊重して掲載しています。
- ・ 発言が「～である」調に記載されていますが、質問・答弁共に「です・ます」調で発言されています。
- ・ 「会議録」は南関町図書館および町ホームページで閲覧できます。12月議会分は3月に公開予定。

『買い物に不自由な人への対策』 『こどもの丘保育園付近の信号機の改善』

買い物に不自由な人への対策について

町内の一人暮らしの方の買い物等の困難さの対策の一助に移動販売車の活用について尋ねる。この移動販売車についてですが、この件は自主返納や高齢者の方々が買い物等に非常に苦勞されとかねがね聞いているので尋ねる。

(町長) 移動販売車の導入については、以前商工会へも相談したことはあるが、初期費用については国の補助金を活用できるものの維持費用または、移動販売車運行に伴う人件費等総合的に検討された結果、手を挙げる事業者がいなかったため、導入を見送られた経緯がある。ただ、高齢者等買い物に不自由を感じている方が多い現実でもあるので、町では平成23年度より開始した「住んでよかったプロジェクト推進事業」のメニューの中で買い物宅配サービス事業に取り組み事業を推進してきたが、利用される方のほとんどが日々の弁当を注文されており、日用品等を買物される方がいない状況でした。実際、買い物については現地で自分の目で品定めを行うことが楽しみでもあるので、乗り合いタクシーを活用され目的地まで行かれる方が一番多い状況である。

移動販売車の活用については、先ほど申したとおり事業者のご理

解、ご協力なくしては成り立ちませんので、町としてできる買い物弱者対策を推進していきたいと考えている。



こどもの丘保育園付近の信号機の改善

こどもの丘保育園付近の信号機の改善についてであるが、本地の信号機は右折時に矢印方向の指示がないため、スムーズに車が流れず、特に朝夕は渋滞している。そこで、対策を尋ねる。

(町長) 信号機については、熊本県警の交通安全委員会が設置・管理をされている。本町は、玉名警察署の管轄であるので、玉名署交通課の担当の方へ問い合わせをしたところ、設置当時の交通量では、右折矢印信号の設置指針に該当していなかったということで通常信号機の設置となっているようだ。

しかし、「当時と現在では、交通事情も変化しているので、朝夕の混雑状況を把握し検討させていただきたい。」との回答をもらった。

しばらくは、時間を要すると思



文教厚生常任委員
広報常任委員

山口純子

うが、熊本県交通安全委員会の判断によって改善ができ、渋滞が少しでも緩和されることを期待している。今後は、渋滞解消の改善がみられるまでは、要望を続けていきたいと考えている。

まとめ

こどもの丘保育園付近の信号機の件は、町民をはじめ子どもの丘保育園や農村広場の利用者に特に必要で、一刻も早くお願いしたいと思う。また移動販売車の件は、町当局が様々な手だてをされていることは十分承知しているが、背景に高齢者の交通問題が社会問題になっているので、買い物や通院などで免許を簡単には手放せないと思う。





総務産業常任副委員長
議会運営委員
有明広域行政事務組合議員

西田 恵介

『採用試験の応募倍率について』 『農業振興について』

幅広い人材を採用するため来年から採用したらどうか。

(町長) 令和5年度から取り入れることができるように調整をしていく。



(町長) 出張の際、東京で南関米の「大蛇の瞳」が好評であった。今後、高く売れるようにシステムをつくりブランド化することを考えている。

(経済課長) 上限を最大の40万と行うことを行っている。共同利用や組織に関しては今後、補助率の増額等を考えている。

採用試験の応募倍率について

職員採用試験の応募倍率、近隣の市町の状況について尋ねる。

(町長) 令和2年度が7名に対し、22名で3.1倍。追加では6名に対し45名で7.5倍でした。令和3年度は4名に対し、10名で2.5倍。追加では5名に対し21名で4.2倍で、追加募集が伸びるという傾向がある。地元からの応募者が少なく技術系職種などの応募はあるが採用までに至らないことがある。近隣市町の応募倍率については、公表されていないため、実態は掴んでいない。なお、荒尾市・玉名市については「総合適性試験」を導入されており、多くの自治体が採用試験について検討していると聞いている。町でも導入を考えている。

「総合適性試験」の内容など近隣の情報について尋ねる

(総務課長) 近隣では「総合適性試験」で応募者が増えていると聞いている。地元出身者が各地で試験を受けることができ、受験者にとって大きなメリットがあると思う。

農業振興について

南関町の農業の方向性と認定農家のメリット、デメリットについて尋ねる。

(町長) 基盤整備と一体となった担い手への農地の集積や、整備済の地域では地域営農組織の設立・育成など、生産基盤の実情に応じた地域営農組織等、担い手の確保・育成と生産性の向上、柱となる作物の導入による経営の安定化を図るため、関係各所との連携を密にし、継続的な支援を行う。認定農業者のメリットは、経営所得安定対策への加入、低金利融資利用、支援事業や交付金の活用、農業者年金制度における補助支援、各種協議会への加入による情報交換の場が増えるなどがある。デメリットについては、特になく考えるが、5年毎に経営改善計画の更新事務手続きについて、手間と思われる方もおられる。

農機具など経費が高騰し、苦しい状況である。補助金の上限の変更や農産物をブランド化する計画はないか。

認定農家以外の農業者への農機具等の補助を検討しているか。

(経済課長) 中山間直払い制度を活用し、国県町の補助で草刈り機など購入されているところがたくさんある。この制度を活用してもらいたい。

(町長) 個人的なところに補助を出すのは難しいが全般的に考えて検討していきたい。

農業団体との交流は。

(町長) コロナ禍で出来なかったが、組織的な動きができるような話をする機会を今後作っていく。

まとめ

令和5年より「総合適性試験」が採用され、幅広い人材やUターン等による町出身者の応募者が増えればと思う。南関町の特色を生かし、希望が持てる農業を実現するため今後も取り組んでいきたい。

